

△産業宣教 2025 年の産業人の祈り (I 列 18:1-15)	△RT と TCK 伝道学 300% を見つけられない理由 (創 45:1-5)	△核心 5000 種族を生かす祝福を先に得るべき (使 1:8)
<p>□序論_産業人</p> <p>1. RT レムナント 7 人を「皆さんに付けられた、あるいは神様がこのようなレムナントをだれに付けるだろうか」を一度考えてみなさい。神様はヨセフのために未信者を祝福された。モーセをイテロが助けたし、サムエルが登場した時エリも祝福された。ダビデのような人物がいるならば、サムエルのような祝福を与えられるだろう。エリシャの背景はオバデヤで、バビロンの弟子はイザヤの契約を握った。イエスを信じる人を捕まえて殺すパウロをキリストがアナニアがいるダマスコで倒されて、アンティオキア時代が開かれた。世界的な人物が皆さん教会で育っているならば、どうなるだろうか。</p> <p>2. ただ福音(わざわい)ただ福音でなければわざわいを止めることはできないということを発見して伝えてあげるべき ただ祈り(ミッション)ミッションが正確でこそ、ただ祈りとなる ただみことば(流れ)時代の道しるべになるみことばの流れを見たこと。今日のみことばは今日の流れだ。 ただ伝道・宣教ただ聖霊の導きと聖霊の働きと聖霊の実によってだけできる。</p> <p>3. 3 経済 このとき、皆さんに 3 経済(光の経済、宣教経済、レムナント次世代経済)を集めて持って来てくださる。 <u>持って来てくださること</u> 本当に伝道運動は神様が人を集めて送られることだ。みなさんの産業に神様が光を照らして、神様が祝福されて世界伝道を持って来てくださるということだ。</p> <p>□本論_できない理由</p> <p>1. 光の経済 1) 私の考えより福音 2) 人のことばより神様のみことば 3) ポジション争いでなく教会 この祝福を知るようになれば、完全に光が照らされるので、光の経済となる。</p> <p>2. 宣教経済 1) 別のこと 2) 間違ったこと 3) 減びることをする。 これだけ悟れば 300%が出てきて、ロマ 16 章の祝福を受ける。そのときから、宣教が成される。</p> <p>3. 次世代経済 1) 刻印 金土日時代と三つの庭が重要だ。レムナントに祈りができないほど違うことが刻印されている。 2) 根 多くの傷と違ったことで根をおろした。 3) 体質 未信者のような体質になってしまった。 それゆえ、祈りで <u>7・7・7</u> を刻印させなければならない。</p> <p>□結論</p> <p>1. ラハブ 完全に時代を変えた。 2. オバデヤ 難しい時代、偶像国家になったときに出てきた産業人だ。 3. ロマ 16 章(16:25-27) 最悪の条件の中にあつた初代教会の産業人にロマ 16:25-27 の祝福を与えられた。</p>	<p>創 45:1-5 300% -ヨセフが総理になった現場だ。ここに 300%の答えが出ている。</p> <p>□本論</p> <p>1. 300%理由-<u>祈り</u>から分かる必要がある。 1) やぐら(刻印)-神様がくださったやぐらを私に刻印させることが祈りだ。 2) 旅程(根)-神様がくださった旅程に根をおろすようにさせることが祈りだ。 3) 道しるべ(体質)-重要な道しるべが私の運命になる、体質にすることが祈りだ</p> <p>2. 300%内容-<u>何を</u>準備すべきなのか 1) タラントは-専門性 100% 2) 時代を見る-現場性 100% 3) 持続する-システム 100%</p> <p>3. 300%方法-<u>どのように</u>すべきなのか 1) 編集(みことば)-タラントが発見できれば、みことばが成就する時まで続けて編集する。 2) 設計(祈り)-これを持って祈って、祈りの中に入れることが設計だ。 3) デザイン(現場)-現場を見てデザインするのだ。これは資料、祈り、現場を見たことだ。</p> <p>△レムナントは外に出て行く前にこれが準備される必要がある。「創 37:1-11」はヨセフの話だが、ここには 300%が入っている。ヨセフは幼い時にしっかりと握った。すると簡単になる。 △ヨンドに來たとき、300%をした。二週間、復興会をしたのが 100%、それからこの町を分析したのが現場 100%、そして 300 か所同時にみことば運動をしたが、これを持続したことがシステムだ。そこで出てきたことが、今している核心だ。</p>	<p>伝道しに行く前に、伝道ができる祝福と 5000 種族を生かす祝福を先に受けなさい。</p> <p>□序論</p> <p>1. 創 3:15 女の子孫が蛇の頭を打つ/福音を教えないので<u>奴隸</u>になった。 2. 出 3:18 血のいけにえを献げに行きなさい/福音を教えないので<u>捕虜</u>に行った。 △違うことが先に刻印されているので、祈ることができない。私たちのレムナントに福音を刻印、祈りを刻印させて送り出す必要がある。レムナントが祈りができるならば世界福音化する。 3. イザ 7:14 インマヌエル/そして<u>属国</u>になった。 4. マタ 16:16(20) ペテロがキリストを告白して、まだ知らなければならぬことが多いので、だれにも話してはならないと言われた。<u>流浪の民</u>になって子孫が完全に滅びた。 5. ロマ 1:16-17 パウロはこの福音は救いを与える神様の力なので、恥とは思わないと言った。義人は信仰によって生きる。</p> <p><u>福音の奥義</u>を味わうことが信仰生活</p> <p>1. 三つの祭り-血を塗る日に救い(過越祭)、聖霊の力で荒野を通過(五旬節)、祈りの大きい背景は御座の力(仮庵祭) 2. やぐら、旅程、道しるべを語られたイエス様 3. この話をわかったパウロ(使 19:8)</p> <p>□本論_一日一回以上<u>集中</u> <u>祈り</u></p> <p>三位一体の神様のやぐらが私の中に建つべきで、その旅程に行くのだ。行って道しるべを建てるのが重要だ。教会復興、世界宣教、産業の復興、300%と関係がある。</p> <p>1. カルバリの丘(ヨハ 19:30) -まことの弟子 キリストで完了したということを知った人がまことの弟子だ。まことの弟子を見つけなさい。できない、そこが正確な始まりだ。 2. オリーブ山- 40 日集中したがミッションが与えられた。御座、御座から与えられる答えである神の国、私の職業が神の国のことに変わる。 3. マルコの屋上の部屋-三つの祭り、多民族、未来、3000 弟子、主日と毎日 4. アンティオキア-時代転換(ステパノの迫害により散らされた者が集まった、そこにパウロを送られ、世界宣教が起きた。) 5. アジア-使 13:1-12 初めての宣教(300%準備して出て行きなさい。これが基準) △未来のことを準備しなさい。聖霊の導きを完ぺきに受けなさい。それが祈りだ。聖霊の働き、聖霊の実によって 6. マケドニア(門が閉ざされたとき、ターニングポイント) 7. ローマ(絶対やぐらを建てなさい) 300%準備-私、現場、未来に対する 100%。祈ればタラントが出て来る。すると 300%を作りなさい。</p>
	<p>△散らされた弟子たち 散らされた現場の準備された者を見るべき (使 11:19)</p> <p><u>3つの庭、金土日時代、黙想時代、237-5000</u></p> <p>三つの庭 300%を作りなさい。金土日時代 300%を作ってレムナントに刻印させなさい。黙想時代を作って時代を癒やしなさい。そして、237、5000 に行ける祝福を味わいなさい。何を基準にすれば良いのか。</p> <p>1. 飢え渴いたたましいが待っている。 2. ところが、福音を知らない信徒なので、現地に信徒、教会は福音を伝えていない。それゆえ、だれが、何を、どのように宣教すれば良いのか。 3. だれが-OUR 持っている人が 何をしなければならぬのか-7 やぐら、7 旅程、7 道しるべ どのようにしなければならぬのか-刻印、根、体質</p>	

<p>△区域メッセージ第 51 週 7 つの道しるべと永遠の答え(ヨハ 19:30)</p>	<p>△聖日 1 部 過ぎ去った時を振り返って見る時刻表(使 11:1-18)</p>	<p>△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 未来の時間を確定する時刻表(使 11:19-30)</p>
<p>□序論 1.7 やぐらを続けて祈れば、目に見えないように、私たちの中に続けて刻印、 2.7 旅程は、実際の私たちの目に見えないように現場に行くので、目に見えないように根、 3.7 道しるべは、私たちの目に見えることで体質になることだ。このとき、絶対やぐらが建つようになる。 今日の道しるべは聖書で一番重要な部分だ。</p> <p>□本論 1.カルバリの丘-ヨハ 19:30、マタ 28:16-20(始まり) カルバリの丘の契約、キリストが完了されたということは、救いと私たちのすべてを完了したということだ。私たちの弱い部分が始まり、絶対不可能が始まりだ。 2.オリーブ山- 40 日集中= <u>24・25・永遠</u> オリーブ山で 40 日集中したというのは、刻印させようとしたこと、それゆえ、24 するのだ。 1) 御座の力 2) 神の国が臨む。 3) 神の国のことが成り立つ。 3.マルコの屋上の部屋-体験 1) 三つの祭り-過越祭、救われた。仮庵祭、御座の背景は保証されている。今日、礼拝をしながら受けることが五旬節、聖霊の力だ。最高の答えは私たちがみことば成就する中にいることだ。 2) 多民族が見え始める。 3) 未来-夢を見て、預言と幻を見るとは、未来が見える。 4.アンティオキア 1) 使 11:1-18 エルサレム教会だ。できないのだ。 2) 使 11:19-30 神様がアンティオキア教会を建ててローマを任せられた、世界福音化を任せられたのだ。 5.アジア(使 13:1-12) 宣教を出て行ったが、初めて行ったところがアジアだ。完全に聖霊の導きを受けた。それが伝道、宣教の始まりだ。暗闇が崩れて、総督が恵みを受けた。 6.マケドニア(使 16:6-10) アジアへの門がふさがれて、マケドニアに行った。このとき、私たちはあきらめたり、違うことをしてはならない。ここで重要な人生の宣教「ターニングポイント」が出てくる。困難が困難ではなくて、ものすごい時代のターニングポイントだ。 7.ローマ(使 19:1-21) 1) 237 2) 5000 種族がいる所だ。</p> <p>□結論 1. あらかじめ答え-神様が与えられるあらかじめ答えが見える。 2. 力を先に受けた。使 13 章 16 章 19 章で力から受けてティラノに行った。 3. 礼拝=祈るとき 1) 7・7・7 が答えで始め 2) 御使い、主の使い、天の軍勢を神様が送られる。 3) 暗闇、サタンが縛られる。</p>	<p>□序論 1. 次世代に必ず残して、持って行くべきこと-暗闇とわざわいを止めて救われる、ただ福音と御座の力を味わう祈り 1) 福音と伝道を分らない神学 門を閉める教会、神学生がいない、麻薬、同性愛、精神病 2) 答えがなくて力がなく、わざわいに勝つことができない学生たち 3) 福音を逃したイスラエルの臨んだわざわい 2. ユダヤ人と門を閉める教会が分らないこと 1) ユダヤ人が分らないこと (1) 原罪 神様を離れてサタンの奴隷 (2) わざわい (3) 地獄の背景 2) ユダヤ人の誤った神学 (1) ヤハウェはイスラエルの神 (2) イスラエル生かすメシア (3) 選民思想 (4) 律法、伝統を守ってこそ救われる。 3) 異邦人に割礼を受けてこそ救われて、ユダヤ人の法を守らなければならないと言ってパウロを攻撃した使徒 3. イスラエルが減じた理由-サタンが皆さんを一気に倒す方法 1) 創 3、6、11 章 サタンの落とし穴、私の有益(エデンの園事件)、私のこと(ネフィリム時代)、私たちの(バベルの塔) 2) 使 13、16、19 章 サタンの粹 宗教、偶像、迷信、神殿 3) サタンの罠に引っかかった サタンがあなたの中に家を建てた(マタ 12 章) あなたがたの父である悪魔(ヨハ 8:44)</p> <p>□本論 1. 迫害があってもあきらめてはならない。0.1%の福音を持っている人がわざわいを止めた。 1) 創 3:15 女の子孫を分かったアブラハムとヨセフ 2) 出 3:18 血のいけにえを分かったヨケベドとモーセ、イテロ、ラハブ 3) I サム 7 章 ペリシテに攻撃されたとき、ミツパで全焼のいけにえを献げたサムエル 4) これをわかったエリヤ、エリシャ、オバデヤ 5) イザ 7:14 また滅びたとき、インマヌエルの契約を握ったダニエル、三人の同僚、エステル 6) ロマ 1:16-17 迫害を受けたパウロの告白-この福音は救いを与える神様の力、ただ義人は信仰によって生きる ※0.1%の人がどこにいるかにしたがって、神様はすべての祝福を注ぎ込まれる 2. 絶対に違うことをしてはならない。キリストが与えられたことをしなさい。 1) 7 やぐら-刻印 2) 7 旅程-根 3) 7 道しるべ-体質 3. 神様が特に準備された人物-パウロ 1) ダマスコでキリストに会って完全に答えを出したパウロ 2) このときから宣教師に変わったパウロが行く所ごとに弟子 3) ロマ 16:25-27 ただ福音、ただ祈るパウロに、世々にわたって隠されていたことを与えられた。</p> <p>□結論 1. 答えが来なくても、これはすべき 2. そのために私が死ぬとしても、すべきこと-当然、必然、絶対の答え 3. 300%の答えでなくては、世界福音化はできない。</p>	<p>神殿建築礼拝でいくつかのことを念頭に置かなければならない。未来の時間を確定したので、アンティオキア教会はとても重要な時間に用いられた。私たちが神殿建築する間、アンティオキア教会が回復したことをしなければならぬ。 <u>3 経済の祝福を回復すること</u>。まず<u>光の経済</u>は教会にする献金と十分の一献金だ。<u>宣教経済</u>は宣教と三つの庭を作る神殿だ。この二つが繋がらなければ、正しい宣教はできない。<u>RT 経済</u>は時代経済だ。レムナントは祈って、時代経済を見るべきだ。</p> <p>□序論 三つのこと 1. ステパノのこと △ステパノが福音を一度伝えてみじめに死んだ。神様はステパノの死ぬ姿を見せた。 1) 聖霊に満たされていて 2) 天の門と 3) 御座に立っておられるイエス・キリストを見せた。「ステパノは眠りについた」そう言われている。この中にパウロ(サウロ)がいた。 2. その後にさらに危機のことに会った。(使 12:1-25) △困難が続けば、ほとんど逃げる。このとき、すべての重職者中心に集まったのだ。祈るそのとき、神様が御使いを送って、ペテロを解放し、主の使いを送って、ヘロデ王を呼んでいった。 3. 散らされた者 △アンティオキア教会も建てて、夜に祈って奇跡が起こる。なぜ、そうしたのか。全世界にない三つの庭がある教会を作るのだ。 △<u>主の御手</u>がともにあつたので、<u>主の恵み</u>が見えた。神様が<u>パウロ</u>を送って<u>バルナバ</u>と出会う。<u>大勢の弟子</u>が集まった。天下が飢饉になったが、アンティオキア教会だけ神様が祝福された。</p> <p>□本論 三つ 1. やぐらを変えた人々 どんなやぐらを変えなければならないのか。「あなたの中に<u>サタンのやぐら</u>がある」私たちは<u>御座のやぐら</u>を建てたのだ。 2. 旅程を見つけた人々 本人も知らず<u>ネフィリムの旅程</u>を行っている。人々は全く分らない。聖書にだけあるが、<u>教会が教えなければ分らない</u>。私たちは止めることはできない<u>御座の旅程</u>を見つけ出すのだ。 3. 道しるべを建てた人々 今、世の中の人々はまもなく崩れる<u>バベルの塔の道しるべ</u>を建てている。私たちは絶対に無くならない<u>御座の道しるべ</u>を建てたのだ。今はうまくいかに見えても、今、神様は最も準備しておられる。</p> <p>□結論 それゆえ、私たちは実際の <u>237, 5000</u> が来るようにさせるべき。 1. その人々のために三つの庭 300%建てたのだ。 2. そして、その中で弟子を育てるレムナントに祈りができるようにさせなければならない。それを指して金土日時代。 3. 世界を変化させる黙想時代を開かなければならない。</p>